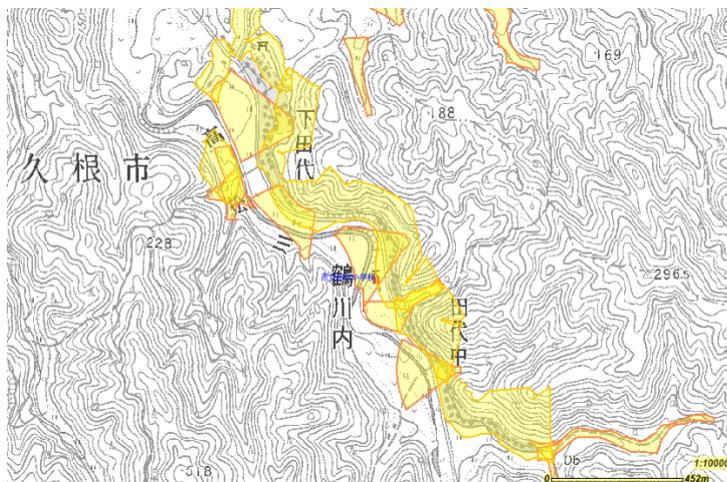


3 阿久根市田代中区 (32世帯)

地域の概況

- 土砂災害警戒区域にほぼ全域が指定されている地区であり，集落人口のうち65歳以上の住民の割合は55%と過疎が進む地域でもあります。
- また，自主防災組織が組織化されておらず，災害時要援護者の避難支援体制等を含め，今後の課題でもあります。



検討会実施日時・場所

平成22年8月8日(木)
9:10~11:45
阿久根市立田代小学校体育館

検討会参加者数

29名



地域防災地図作成の様子

検討会の内容

- NPO鹿児島砂防ボランティア協会による土砂災害の講演
(担当：前原幸夫・伊村正昭氏)
- 県地域防災アドバイザーによる地域防災地図作成指導
(担当：馬渡和男氏)
- 全員による危険箇所の点検等まち歩き，避難体制検討



検討会の感想

防災マップ作成や危険箇所の点検を実際に行うことにより、災害に対する地域の特性を認識できたことは有意義でした。(阿久根市防災担当)

検討会後の取組

今後、自主防災組織の結成に向け検討することとしています。

今後の取組予定

市の防災訓練に参加する予定にしています。

今後の課題

高齢者の割合が多く、自主防災組織のリーダーとなるべき人材の不足が懸念されるほか、災害時要援護者の見守り体制の更なる整備が必要となっています。



まち歩きの様子



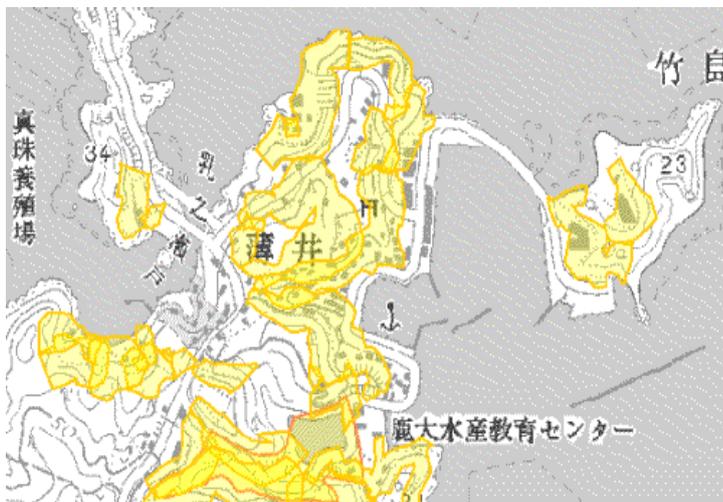
地域内の砂防ダムを点検



4 長島町薄井地区 (110世帯)

地域の概況

- 全国でも有数の水揚げ高を誇る東町漁業協同組合の魚市場が所在する地域で、町全体で高齢化が進むなか、薄井地区は若年層の割合が高くなっています。長島町の高齢化率が約31%であるのに対し、薄井地区は約21%となっています。
- これまで大きな災害の経験はないですが、急傾斜地崩壊あるいは地すべり危険箇所が住宅地を囲んでいる地域です。
- 昔ながらの近所づきあいが存在する地域ではありますが、防災意識が高いとはいえず、また、漁業関係の事業所等が多く存在することから、就業時間の人口は、地域人口の倍近くになる地域です。



検討会実施日時・場所

平成22年11月4日(木)
13:30~16:20
長島町薄井公民館



図上訓練 (DIG)

検討会参加者数

46名

検討会の内容

- NPO鹿児島砂防ボランティア協会による土砂災害の講演
(担当：木下薩男・中村孝・徳永康一氏)
- 県地域防災アドバイザーによる地域防災地図作成
(担当：村野剛氏)
- 全員による危険箇所の点検等まち歩き、避難体制検討



検討会の感想

- 若年層の参加者が多かったですが、自分の住む地域について見つめてみるという機会がなかったので、とてもいい経験になった、とのことでした。
- また、老人会の参加者から、石炭採掘場の跡や井戸の位置についての話が出たりと、とても有意義なものになりました。(長島町防災担当)



まち歩きで危険箇所等点検

検討会後の取組

- 検討会後早速発足の検討をしていただき、12月中に発足の連絡をいただきました。
- その後、規約、防災計画等を作成していただき、平成23年1月31日付けで「薄井自主防災会」として発足していただきました。



危険箇所の看板確認

今後の取組予定

3月中に総会を開催する予定です。

今後の課題

- 今回、避難検討会を実施した薄井地区のみならず、町全体として、昨年度または今年度中に自主防災組織を発足したという地域がほとんどです。
- 自主防災組織の発足促進の取組として、「まず、今の町内会を利用して、組織を立ち上げよう。」ということからスタートし、現在では町内のほとんどの地域で発足していただいています。(3月末には組織率100%になる計画)
- しかし、平素からの活動について、地域によって大きな違いが出ているのが現状であり、組織によっては、独自に危険箇所マップを作成したり、防災訓練を実施したり、という地域もある一方で、どんな活動をしてよいかわからない、という組織もあります。
- 今後は、組織の活動の活発化ということが課題となります。



検討結果の発表

